

第6次美濃加茂市総合計画策定のための  
中学生アンケート調査結果報告書

平成31年2月

美濃加茂市



# 目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法、回収結果	1
	(3) 本報告書の留意事項	1
2	回答者の属性	2
	(1) 性別	2
	(2) 居住地区	2
II	調査結果	3
1	美濃加茂市について	3
	(1) 第5次総合計画に取り組んでいることを知っているか	3
	(2) 今後の定住意向	4
	(3) どんなまちであれば住み続けたいか	5
2	まちづくりの意識と取り組みについて	7
	(1) 地域は高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいか	7
	(2) 地域で毎日楽しく過ごしているか	8
	(3) 地域の自然環境は守られていると思うか	9
	(4) ごみ減量化や省エネなどのエコ活動に取り組んでいるか	10
	(5) 地域の商店街や駅前に活気があるか	11
	(6) 地域に観光などの訪問客が増えていると思うか	12
	(7) 自慢したい地域の風景や名所があるか	13
	(8) 災害時の避難場所	14
	(9) 災害に対して住んでいる地域は安全か	15
	(10) 地域での防災訓練に参加しているか	16
	(11) 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか	17
	(12) 地域活動やボランティア活動をしてみたいか	18
	(13) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか	19
	(14) 今の生活にどの程度満足しているか	20
	(15) 平日に家族で話をする時間	21
3	今後のまちづくりについて	22
	(1) 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと	22
	(2) 市民と行政の協働の地域づくりのために必要な取り組み	24

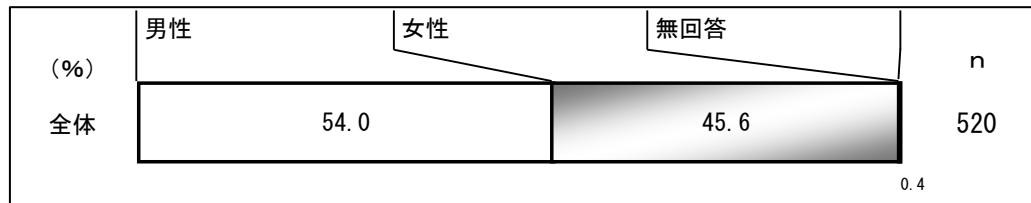




## 2 回答者の属性

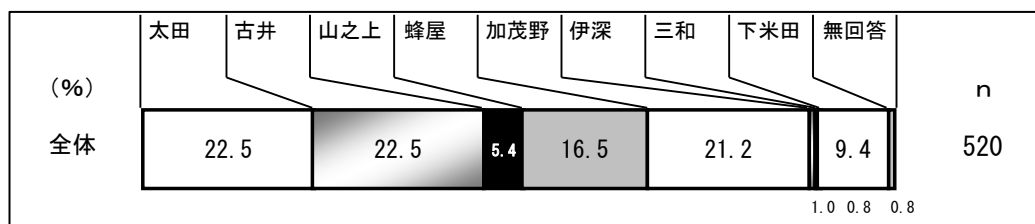
### (1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」(54.0%)、「女性」(45.6%) となっています。



### (2) 居住地区

回答者の居住地区は、「太田」・「古井」(同率 22.5%)、「加茂野」(21.2%)、「蜂屋」(16.5%)、「下米田」(9.4%)、「山之上」(5.4%)、「伊深」(1.0%)、「三和」(0.8%) となっています。



## Ⅱ 調査結果

### 1 美濃加茂市について

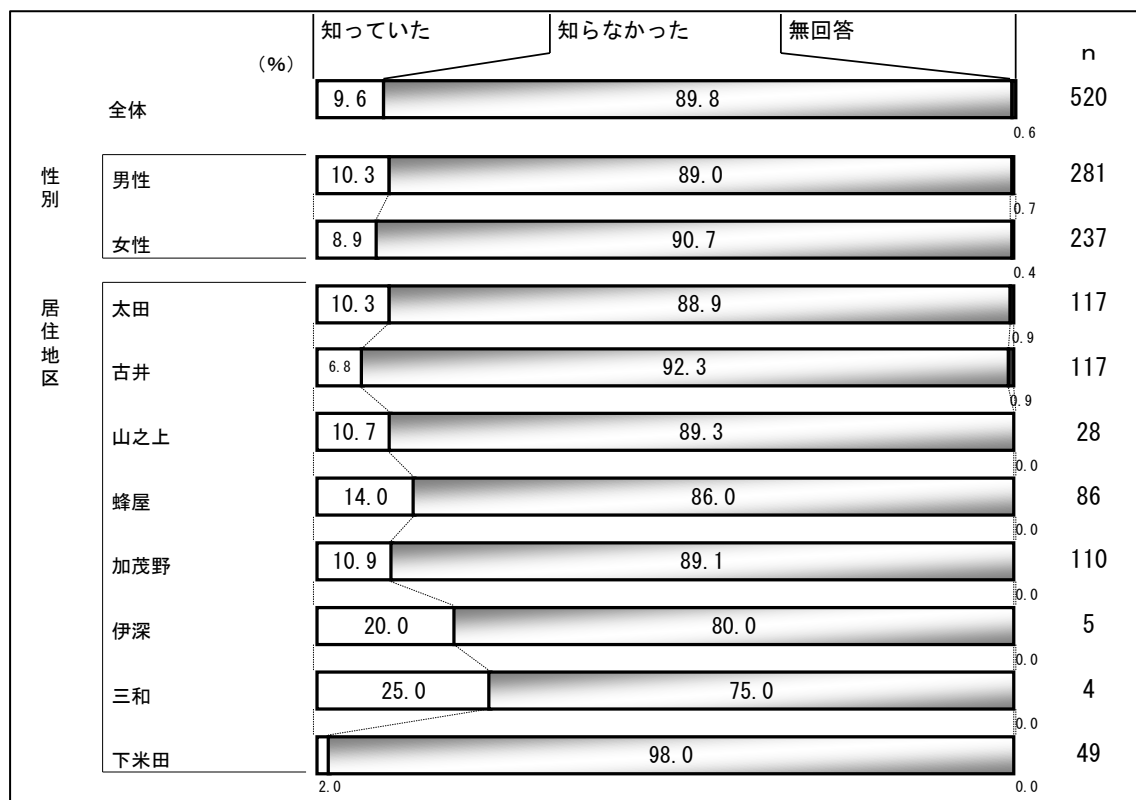
#### (1) 第5次総合計画に取り組んでいることを知っているか

問2 現在、第5次総合計画「まあるいまち みのかも」に取り組んでいることを知っていますか。

- 「知らなかった」が89.8%、「知っていた」が9.6%。

第5次総合計画に取り組んでいることを知っているかどうかについては、「知らなかった」(89.8%)、「知っていた」(9.6%)となっています。[図表1参照]

図表1 第5次総合計画に取り組んでいることを知っているか（全体・性別・居住地区）



## (2) 今後の定住意向

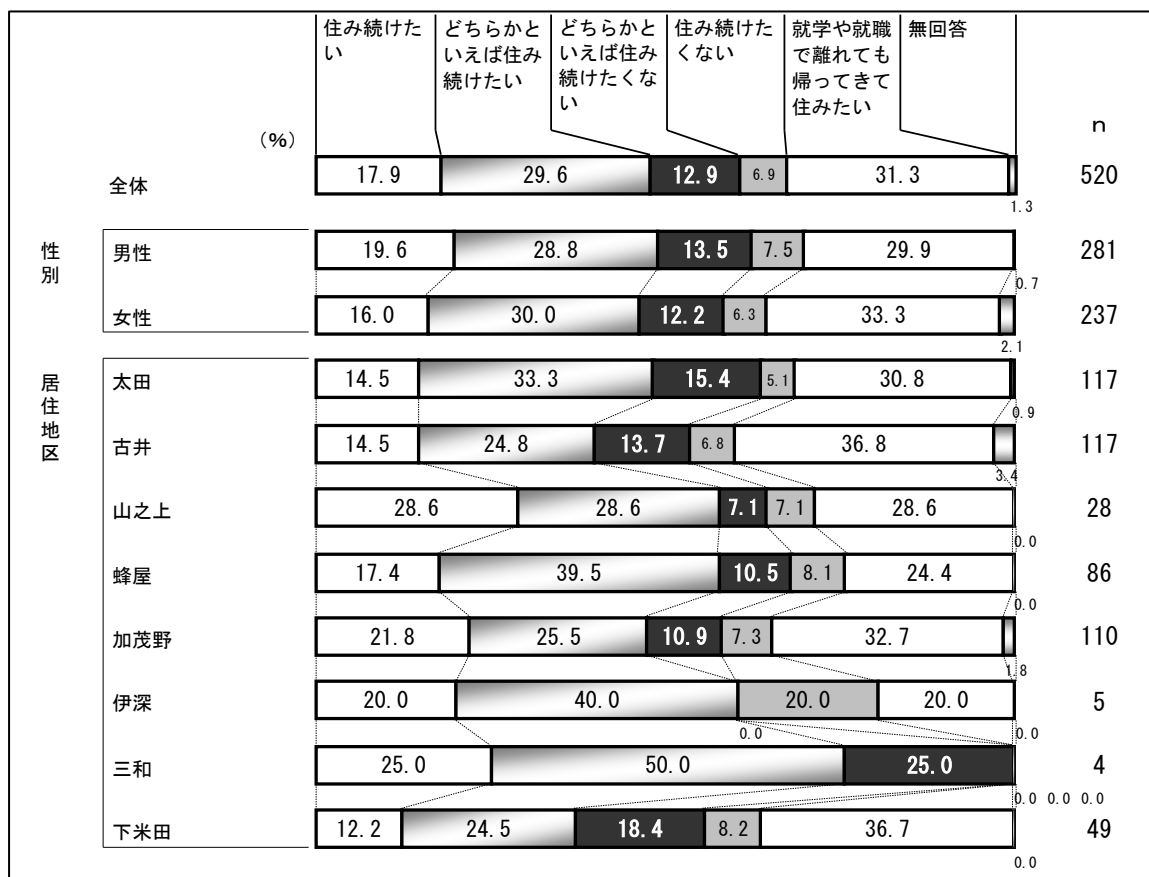
問3 あなたは、美濃加茂市に住み続けたいと思いますか。

- 「就学や就職で離れても帰ってきて住みたい」が31.3%、「住み続けたい」が47.5%、「住み続けたくない」が19.8%。

今後の定住意向を探るため、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「住み続けたくない」、「就学や就職で美濃加茂市を離れても、いつかは帰ってきて住みたい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「就学や就職で離れても帰ってきて住みたい」と答えた人が31.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」と答えた人が29.6%で続き、これに「住み続けたい」(17.9%)をあわせた“住み続けたい”という人が47.5%と5割弱にのぼっています。これに対し、“住み続けたくない”という人(「どちらかといえば住み続けたくない」(12.9%)と「住み続けたくない」(6.9%)の合計)は19.8%となっています。[図表2参照]

図表2 今後の定住意向（全体・性別・居住地区）





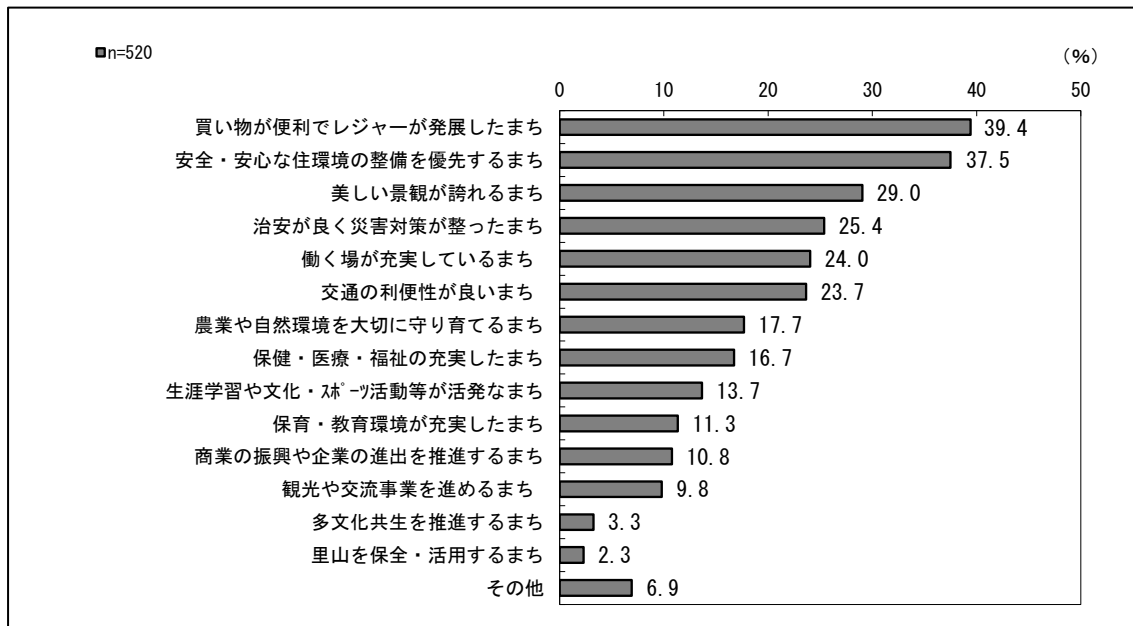
### (3) どんなまちであれば住みたいか

問4 どんなまちであれば住みたいと思いますか。【複数回答】

- 「買い物が便利でレジャーが発展したまち」が第1位。次いで「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」、「美しい景観が誇れるまち」の順。

どんなまちであれば住みたいかについてたずねたところ、「買い物が便利でレジャーが発展したまち」(39.4%)が第1位にあげられ、次いで「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」(37.5%)が第2位、「美しい景観が誇れるまち」(29.0%)が第3位で、以下、「治安が良く災害対策が整ったまち」(25.4%)、「働く場が充実しているまち」(24.0%)、「交通の利便性が良いまち」(23.7%)、「農業や自然環境を大切に守り育てるまち」(17.7%)、「保健・医療・福祉の充実したまち」(16.7%)、「生涯学習や文化・スポーツ活動等が活発なまち」(13.7%)、「保育・教育環境が充実したまち」(11.3%)、「商業の振興や企業の進出を推進するまち」(10.8%)、「観光や交流事業を進めるまち」(9.8%)、「多文化共生を推進するまち」(3.3%)、「里山を保全・活用するまち」(2.3%)などの順となっています。[図表3・4参照]

図表3 どんなまちであれば住みたいか(全体/複数回答)



図表4 どんなまちであれば住みたいか  
(全体・性別・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		買い物が便利でレジャーが発展したまち 39.4	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 37.5	美しい景観が誇れるまち 29.0
性別	男性	買い物が便利でレジャーが発展したまち 40.6	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 35.6	美しい景観が誇れるまち 30.2
	女性	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 40.1	買い物が便利でレジャーが発展したまち 38.0	美しい景観が誇れるまち 27.8
居住地区	太田	買い物が便利でレジャーが発展したまち 46.2	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 36.8	美しい景観が誇れるまち 30.8
	古井	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 39.3	買い物が便利でレジャーが発展したまち 35.0	治安が良く災害対策が整ったまち 29.9
	山之上	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 50.0	買い物が便利でレジャーが発展したまち 35.7	農業や自然環境を大切に守り育てるまち／働く場が充実しているまち 32.1
	蜂屋	買い物が便利でレジャーが発展したまち 40.7	美しい景観が誇れるまち 34.9	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 33.7
	加茂野	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 38.2	買い物が便利でレジャーが発展したまち 33.6	美しい景観が誇れるまち 32.7
	伊深	美しい景観が誇れるまち／農業や自然環境を大切に守り育てるまち 40.0	安全・安心な住環境の整備を優先するまち／交通の利便性が良いまち／買い物が便利でレジャーが発展したまち／保健・医療・福祉の充実したまち／保育・教育環境が充実したまち／生涯学習や文化・スポーツ活動等が活発なまち／里山を保全・活用するまち 20.0	
	三和	買い物が便利でレジャーが発展したまち 75.0	治安が良く災害対策が整ったまち／農業や自然環境を大切に守り育てるまち／働く場が充実しているまち 50.0	
	下米田	買い物が便利でレジャーが発展したまち 46.9	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 32.7	交通の利便性が良いまち 30.6

## 2 まちづくりの意識と取り組みについて

### (1) 地域は高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいか

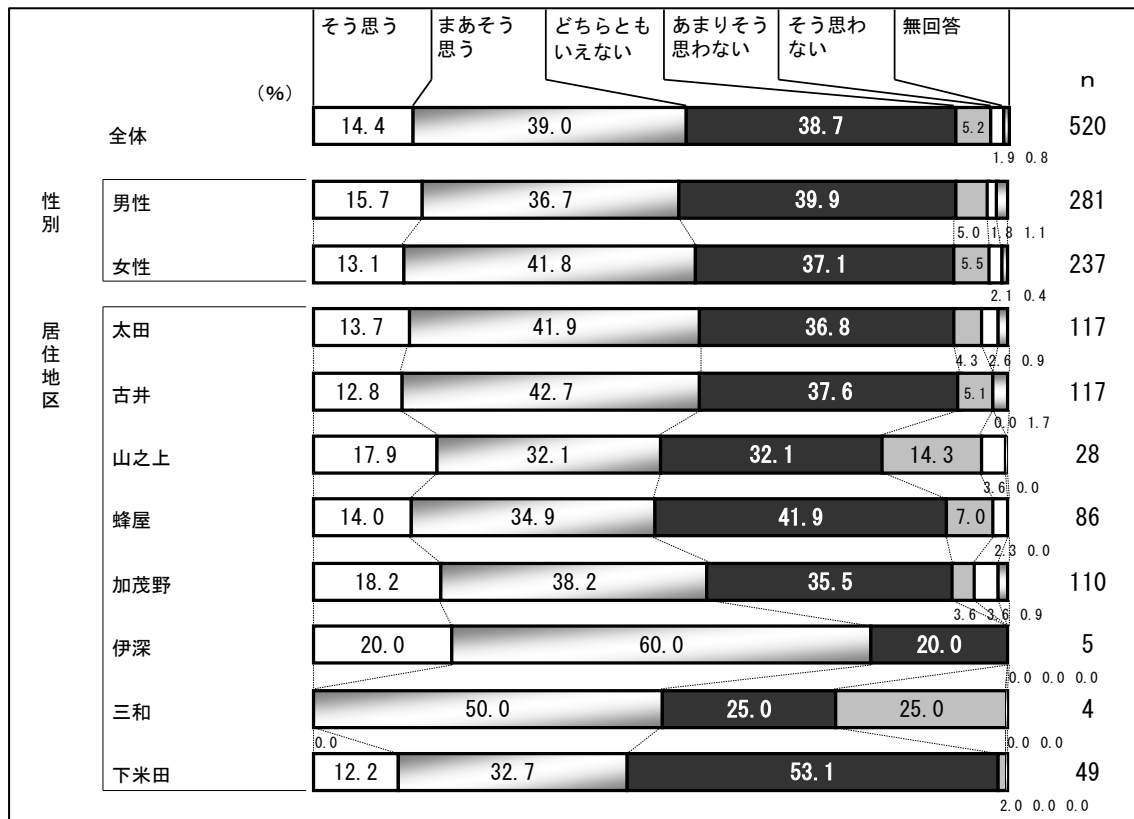
まちづくりに対するあなたの「意識」と「取り組み」について、それぞれの質問ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

問5-1 住んでいる地域は高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

- “そう思う”は53.4%、“そう思わない”は7.1%。

地域が高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が39.0%で最も多く、これに「そう思う」(14.4%)をあわせた“そう思う”という人が53.4%と5割強にのぼっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(5.2%)と「そう思わない」(1.9%)の合計)は7.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は38.7%となっています。[図表5参照]

図表5 地域は高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいか(全体・性別・居住地区)



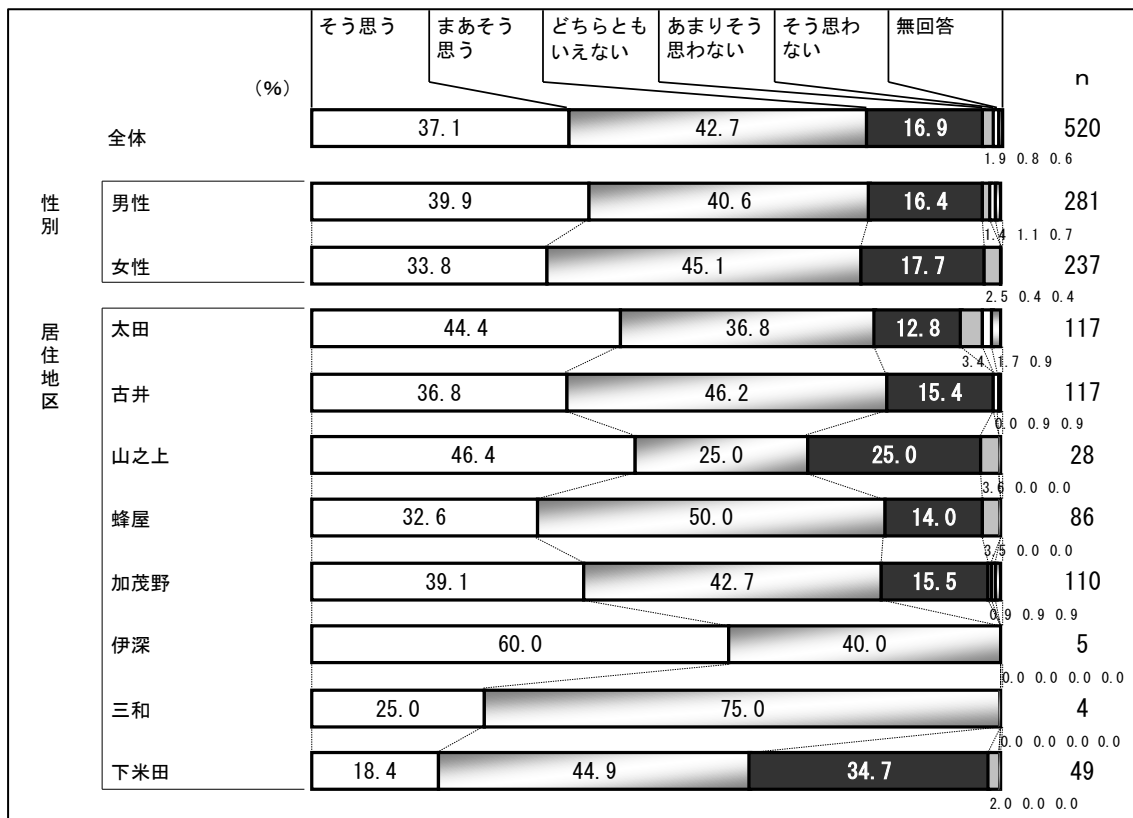
## (2) 地域で毎日楽しく過ごせているか

問5-2 住んでいる地域で毎日楽しく過ごせていますか。

- “そう思う”は79.8%、“そう思わない”は2.7%。

地域で毎日楽しく過ごせているかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が42.7%で最も多く、次いで「そう思う」と答えた人が37.1%で続き、これらをあわせた”そう思う”という人が79.8%と8割弱にのぼっています。これに対し、”そう思わない”という人（「あまりそう思わない」(1.9%)と「そう思わない」(0.8%)の合計）は2.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は16.9%となっています。[図表6参照]

図表6 地域で毎日楽しく過ごせているか（全体・性別・居住地区）



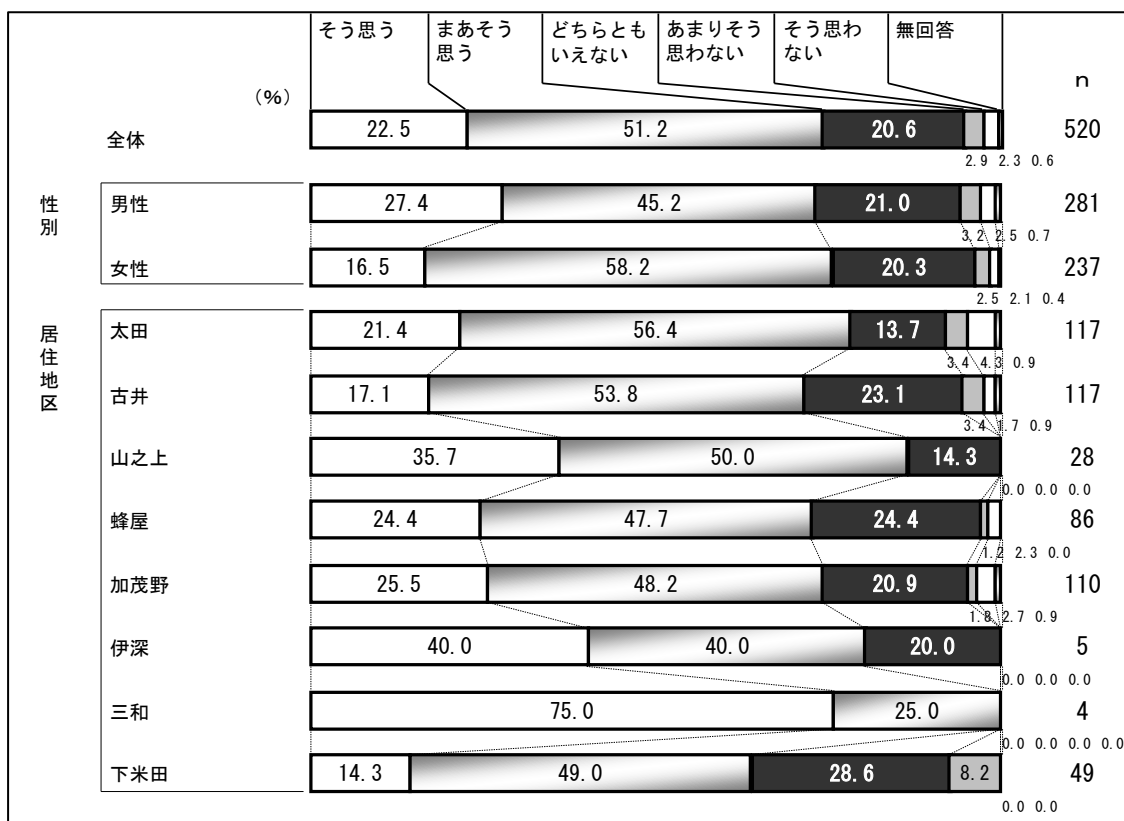
### (3) 地域の自然環境は守られていると思うか

問 5-3 住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。

● “そう思う” は 73.7%、“そう思わない” は 5.2%。

地域の自然環境は守られているかどうかについては、「まあそう思う」と答えた人が 51.2%で最も多く、次いで「そう思う」と答えた人が 22.5%で続き、これらをあわせた”そう思う”という人が 73.7%と7割強にのぼっています。これに対し、”そう思わない”という人（「あまりそう思わない」(2.9%)と「そう思わない」(2.3%)の合計）は 5.2%となっています。なお、「どちらともいえない」は 20.6%となっています。[図表 7 参照]

図表 7 地域の自然環境は守られていると思うか（全体・性別・居住地区）



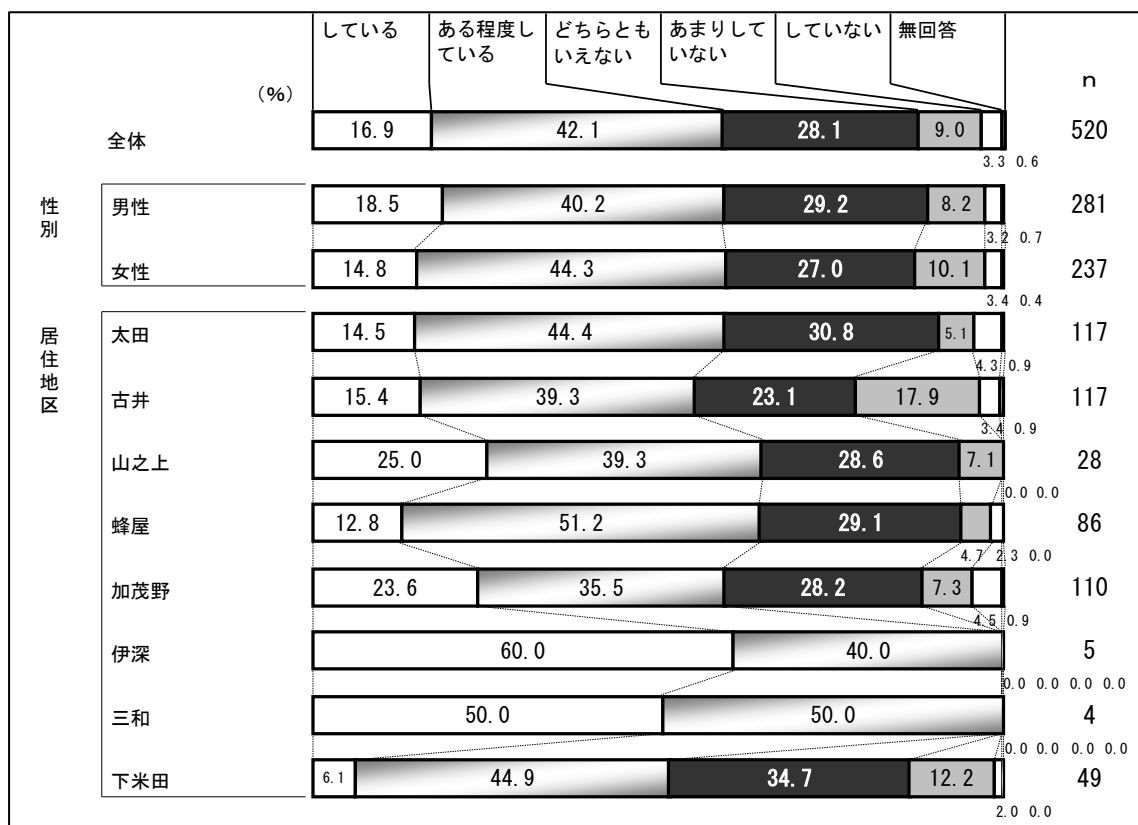
#### (4) ごみ減量化や省エネなどのエコ活動に取り組んでいるか

問5-4 ごみの減量化や省エネなどのエコ活動に取り組んでいますか。

- “している”は59.0%、“していない”は12.3%。

ごみ減量化や省エネなどのエコ活動に取り組んでいるかどうかについては、「ある程度している」と答えた人が42.1%で最も多く、これに「している」(16.9%)をあわせた“している”という人が59.0%と6割弱にのぼっています。これに対し、“していない”という人(「あまりしていない」(9.0%)と「していない」(3.3%)の合計)は12.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は28.1%となっています。[図表8参照]

図表8 ごみ減量化や省エネなどのエコ活動に取り組んでいるか(全体・性別・居住地区)



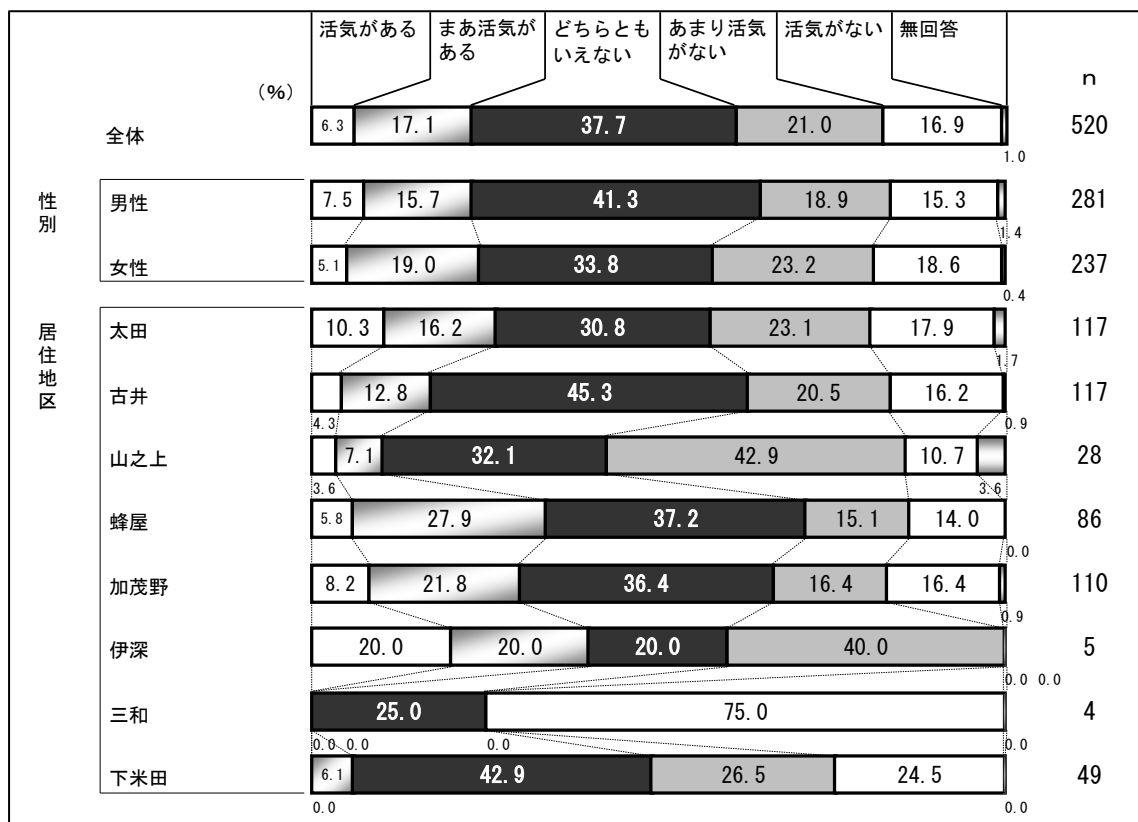
(5) 地域の商店街や駅前に活気があるか

問 5-5 住んでいる地域の商店街や駅前に活気がありますか。

● “活気がない” は 37.9%、“活気がある” は 23.4%。

地域の商店街や駅前に活気があるかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が 37.7%で最も多く、次いで「あまり活気がない」と答えた人が 21.0%で続き、これに「活気がない」(16.9%)をあわせた“活気がない”という人が 37.9%と4割弱にのぼっています。これに対し、“活気がある”という人(「まあ活気がある」(17.1%)と「活気がある」(6.3%の合計)は 23.4%となっています。[図表 9 参照]

図表 9 地域の商店街や駅前に活気があるか (全体・性別・居住地区)



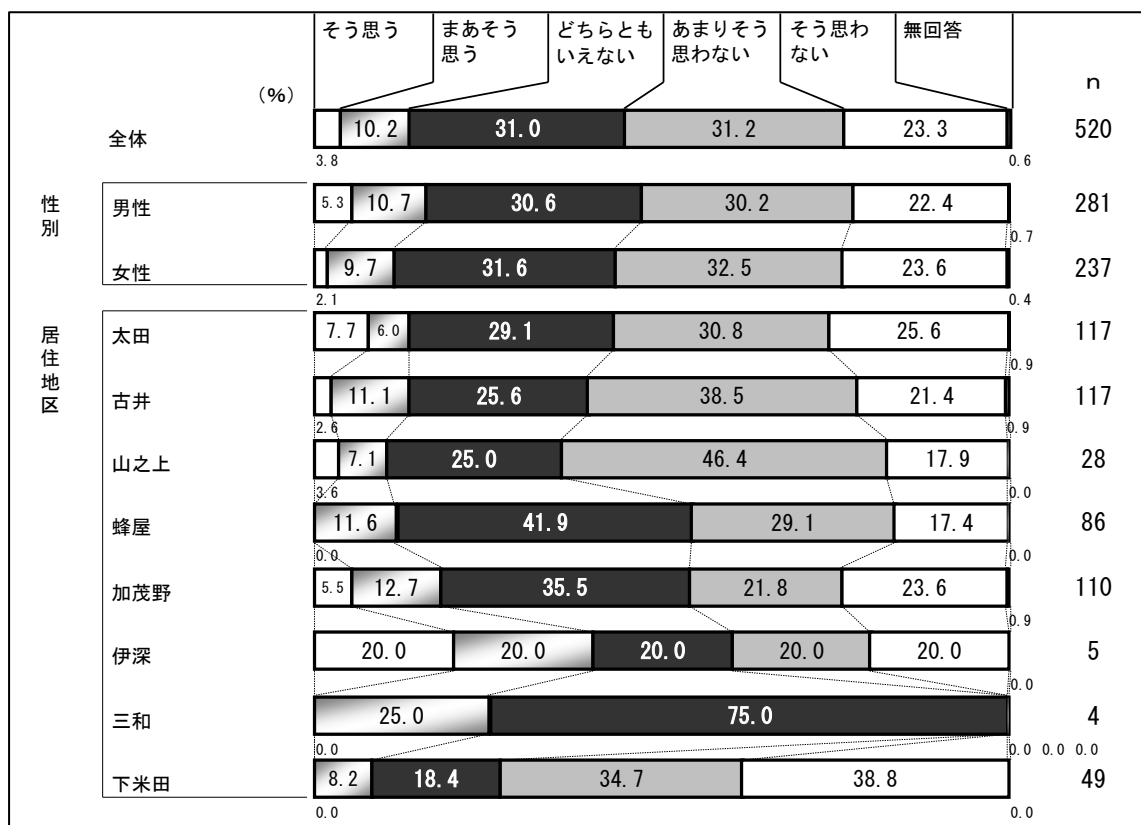
(6) 地域に観光などの訪問客が増えていると思うか

問 5-6 住んでいる地域に観光などの訪問客が増えていると思いますか。

- “そう思わない” は 54.5%、“そう思う” は 14.0%。

地域に観光などの訪問客が増えていると思うかどうかについては、「あまりそう思わない」と答えた人が 31.2%で最も多く、これに「そう思わない」(23.3%)を合わせた“そう思わない”という人が 54.5%と 5 割強にのぼっています。これに対し、“そう思う”という人(「まあそう思う」(10.2%)と「そう思う」(3.8%)の合計)は 14.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は 31.0%となっています。[図表 10 参照]

図表 10 地域に観光などの訪問客が増えていると思うか (全体・性別・居住地区)





(7) 自慢したい地域の風景や名所があるか

問5-7 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

● “ない”は42.0%、“ある”は24.8%。

自慢したい地域の風景や名所があるかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が32.7%で最も多く、次いで「ない」と答えた人が23.7%で続き、これに「どちらかといえばない」(18.3%)をあわせた“ない”という人が42.0%と4割強にのぼっています。これに対し、“ある”という人(「どちらかといえばある」(15.2%)と「ある」(9.6%)の合計)は24.8%となっています。[図表11参照]

図表11 自慢したい地域の風景や名所があるか(全体・性別・居住地区)

		ある	どちらかとい えばある	どちらとも いえない	どちらかとい えばない	ない	無回答	n
全体	(%)	9.6	15.2	32.7	18.3	23.7		520
		0.6						
性別	男性	11.4	14.9	30.6	17.8	24.6		281
		0.7						
	女性	7.6	15.2	35.4	19.0	22.4		237
		0.4						
居住地区	太田	11.1	17.1	27.4	17.9	25.6		117
		0.9						
	古井	5.1	13.7	35.9	19.7	24.8		117
		0.9						
	山之上	17.9	10.7	25.0	32.1	14.3		28
		0.0						
	蜂屋	9.3	19.8	34.9	22.1	14.0		86
		0.0						
	加茂野	11.8	13.6	35.5	10.0	28.2		110
	0.9							
伊深	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0		5	
	0.0 0.0							
三和	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0		4	
	0.0 0.0							
下米田	6.1	14.3	28.6	22.4	28.6		49	
	0.0							

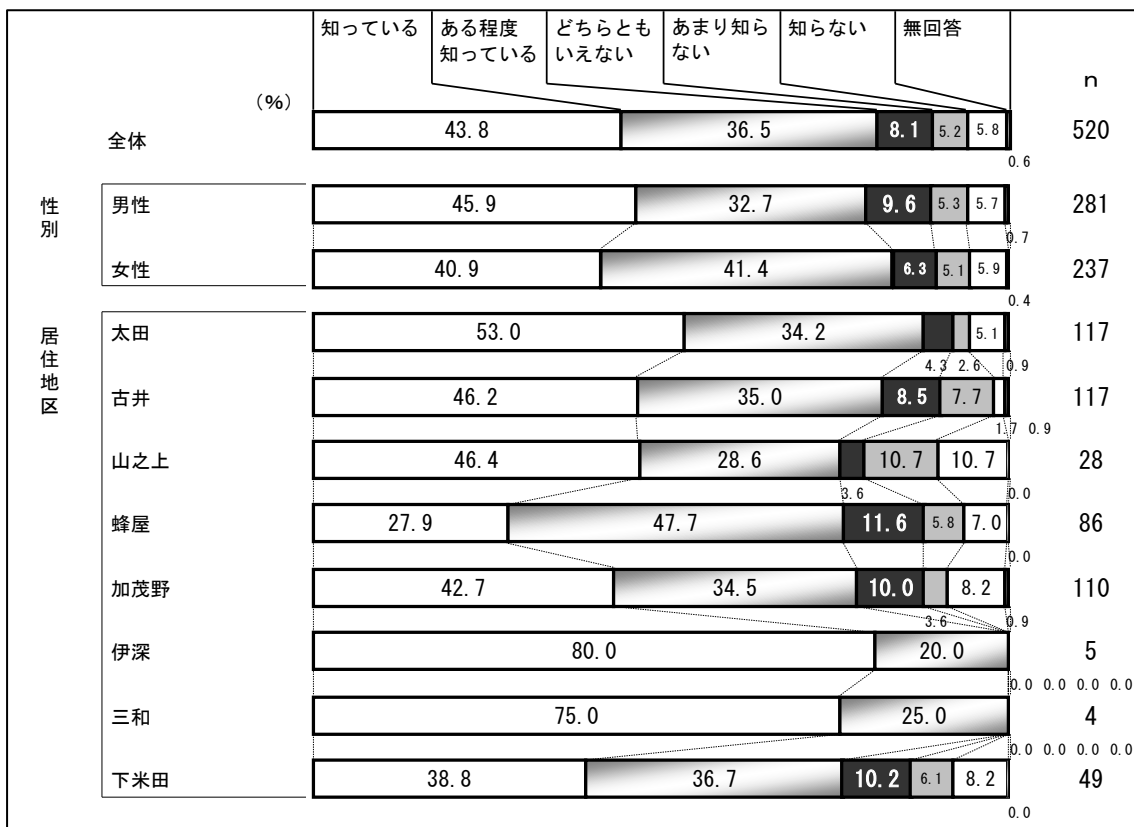
(8) 災害時の避難場所

問 5-8 災害時の避難場所を知っていますか。

- “知っている” は 80.3%、“知らない” は 11.0%。

災害時の避難場所を知っているかどうかについては、「知っている」と答えた人が 43.8%で最も多く、次いで「ある程度知っている」と答えた人が 36.5%で続き、これらをあわせた“知っている”という人が 80.3%と 8割にのぼっています。これに対し、“知らない”という人（「あまり知らない」(5.2%)と「知らない」(5.8%)の合計）は 11.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は 8.1%となっています。[図表 12 参照]

図表 12 災害時の避難場所（全体・性別・居住地区）



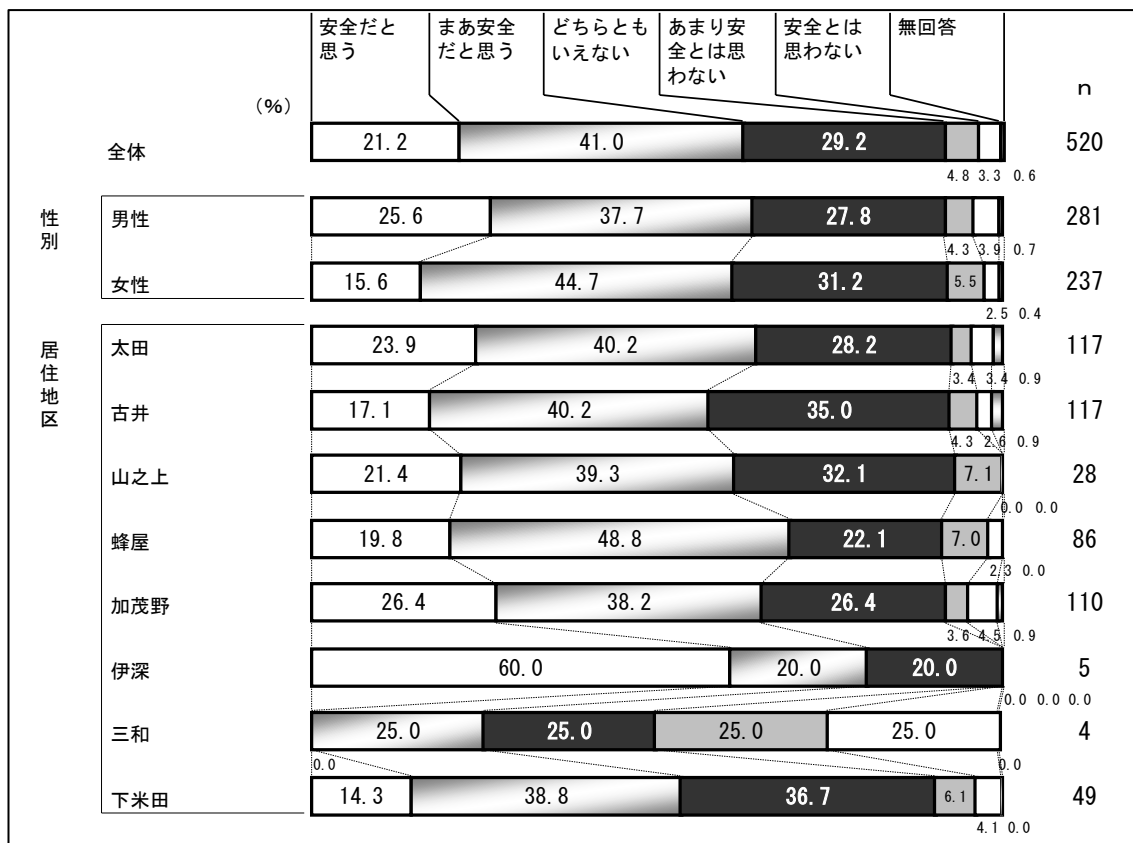
(9) 災害に対して住んでいる地域は安全か

問5-9 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

- “安全だと思う”は62.2%、“安全とは思わない”は8.1%。

災害に対して住んでいる地域は安全かどうかについては、「まあ安全だと思う」と答えた人が41.0%で最も多く、これと「安全だと思う」(21.2%)をあわせた“安全だと思う”という人が62.2%と6割強にのぼっています。これに対し、“安全とは思わない”という人(「あまり安全とは思わない」(4.8%)と「安全とは思わない」(3.3%)の合計)は8.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は29.2%となっています。[図表13参照]

図表13 災害に対して住んでいる地域は安全か（全体・性別・居住地区）



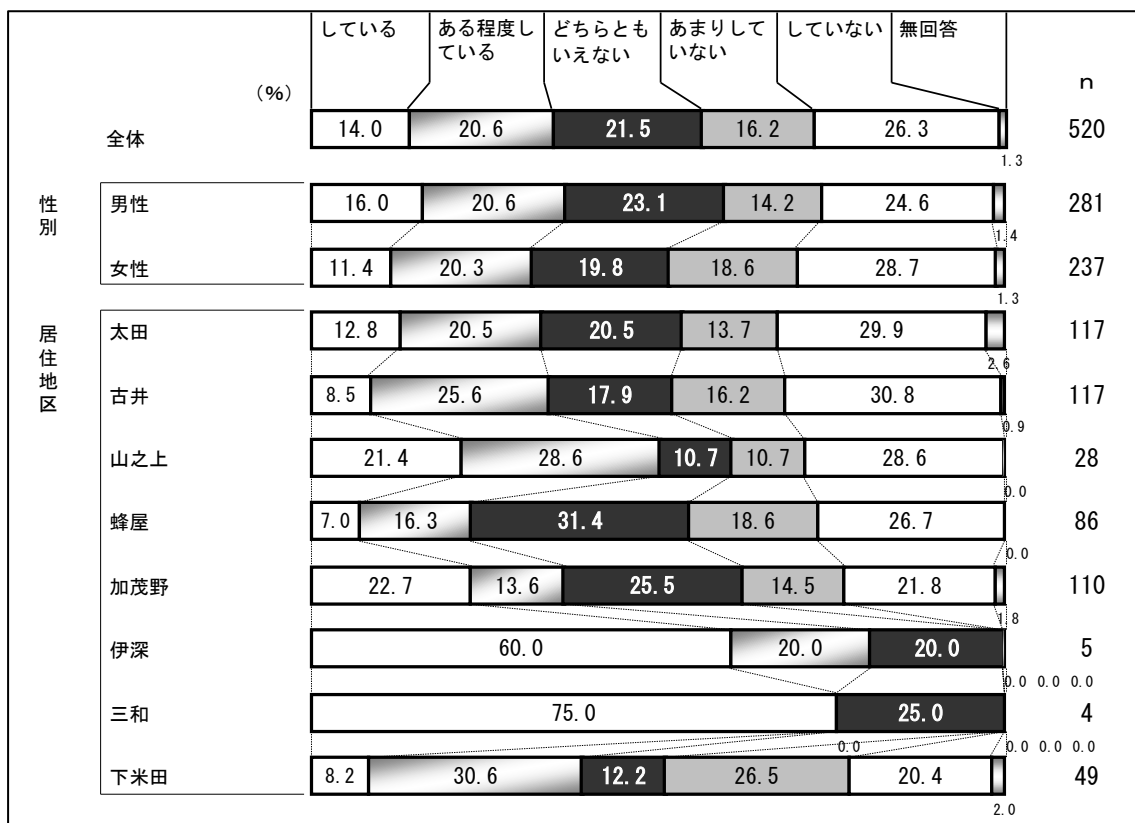
(10) 地域での防災訓練に参加しているか

問 5-10 地域での防災訓練に参加していますか。

● “していない” は 42.5%、“している” は 34.6%。

地域での防災訓練に参加しているかどうかについては、「していない」と答えた人が 26.3%で最も多く、これと「あまりしていない」(16.2%)を合わせた“していない”という人が 42.5%と 4 割強にのぼっています。これに対し、“している”という人(「ある程度している」(20.6%)と「している」(14.0%)の合計)は 34.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は 21.5%となっています。[図表 14 参照]

図表 14 地域での防災訓練に参加しているか (全体・性別・居住地区)



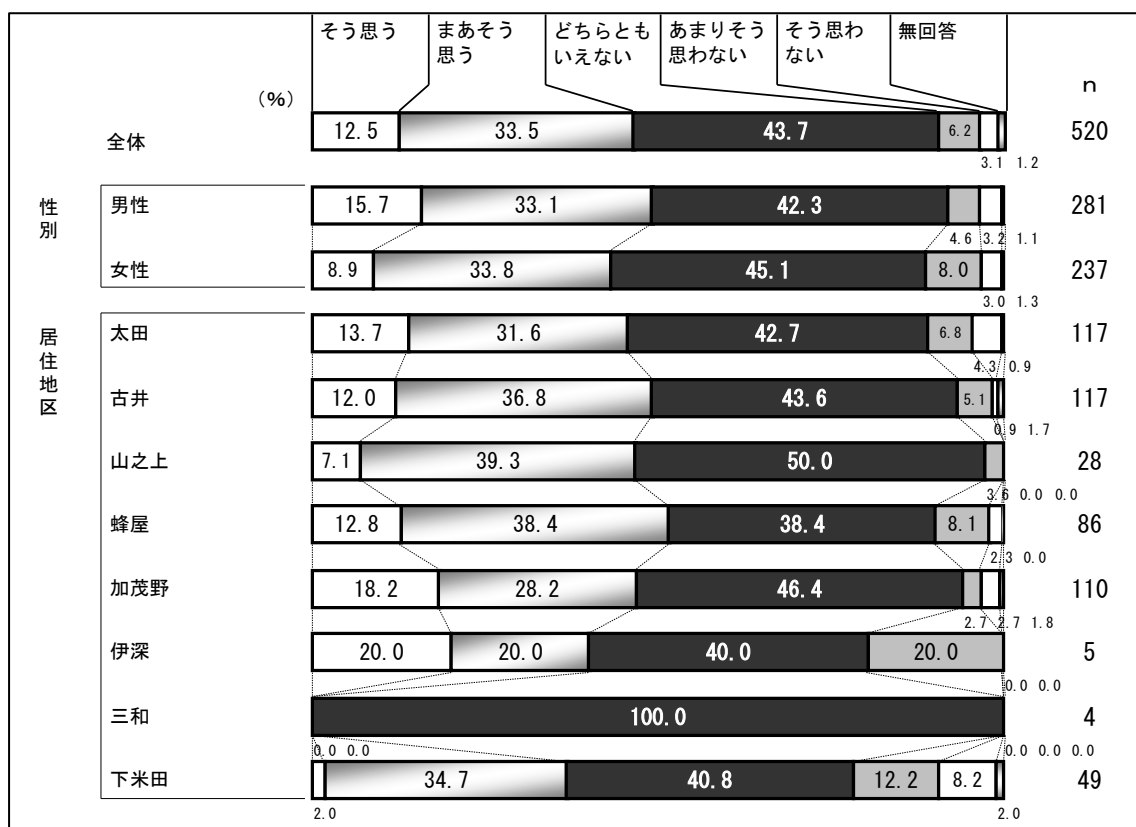
(11) 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか

問5-11 性別や年齢、国籍を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思いますか。

- “そう思う”は46.0%、“そう思わない”は9.3%。

意欲のある人が働きやすい環境が整っているかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が43.7%で最も多く、次いで「まあそう思う」と答えた人が33.5%で続き、これと「そう思う」(12.5%)をあわせた“そう思う”という人が46.0%となっています。これに対し、“そう思わない”という人(「あまりそう思わない」(6.2%)と「そう思わない」(3.1%)の合計)は9.3%となっています。[図表15参照]

図表15 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか(全体・性別・居住地区)



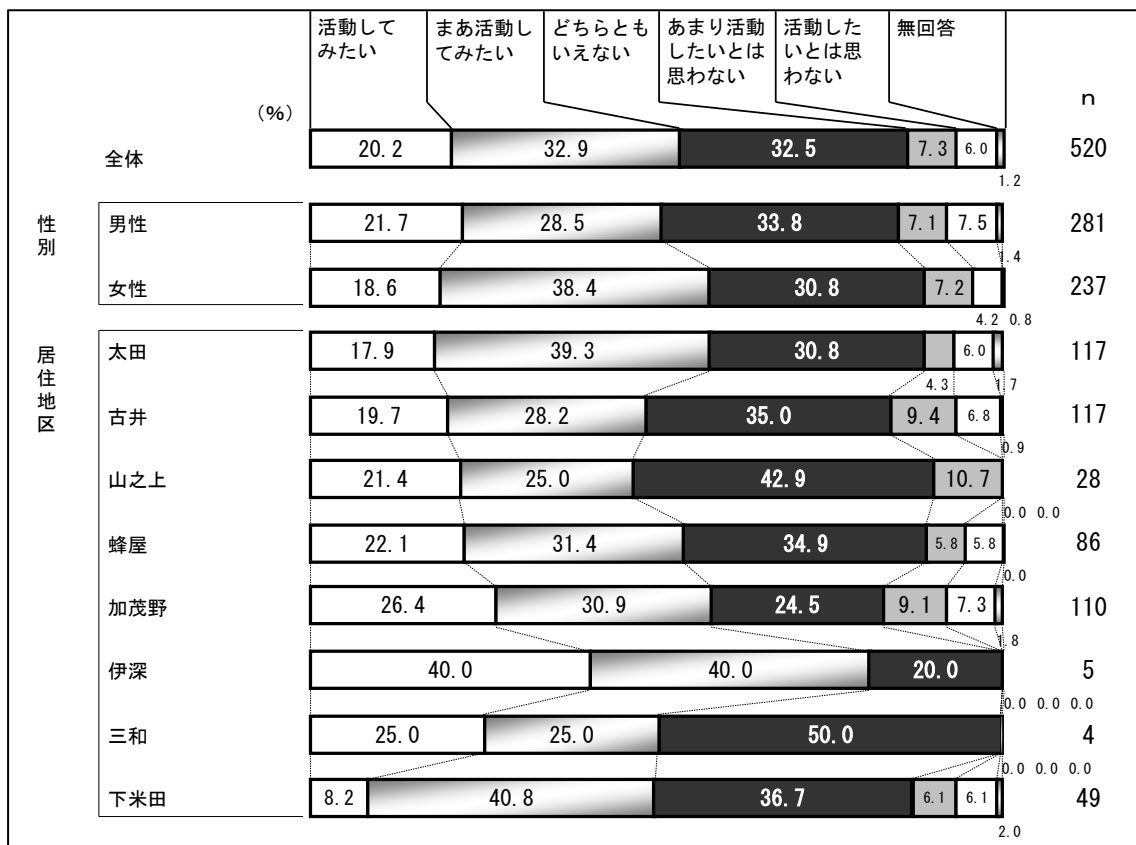
(12) 地域活動やボランティア活動をしてみたいか

問 5-12 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいですか。

- “活動してみたい”は53.1%、“活動したいとは思わない”は13.3%。

地域活動やボランティア活動をしてみたいかどうかについては、「まあ活動してみたい」と答えた人が32.9%で最も多く、これと「活動してみたい」(20.2%)をあわせた“活動してみたい”という人が53.1%と5割強にのぼっています。これに対し、“したいとは思わない”という人(「あまり活動したいとは思わない」(7.3%)と「活動したいとは思わない」(6.0%)の合計)は13.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は32.5%となっています。[図表16参照]

図表 16 地域活動やボランティア活動をしてみたいか (全体・性別・居住地区)



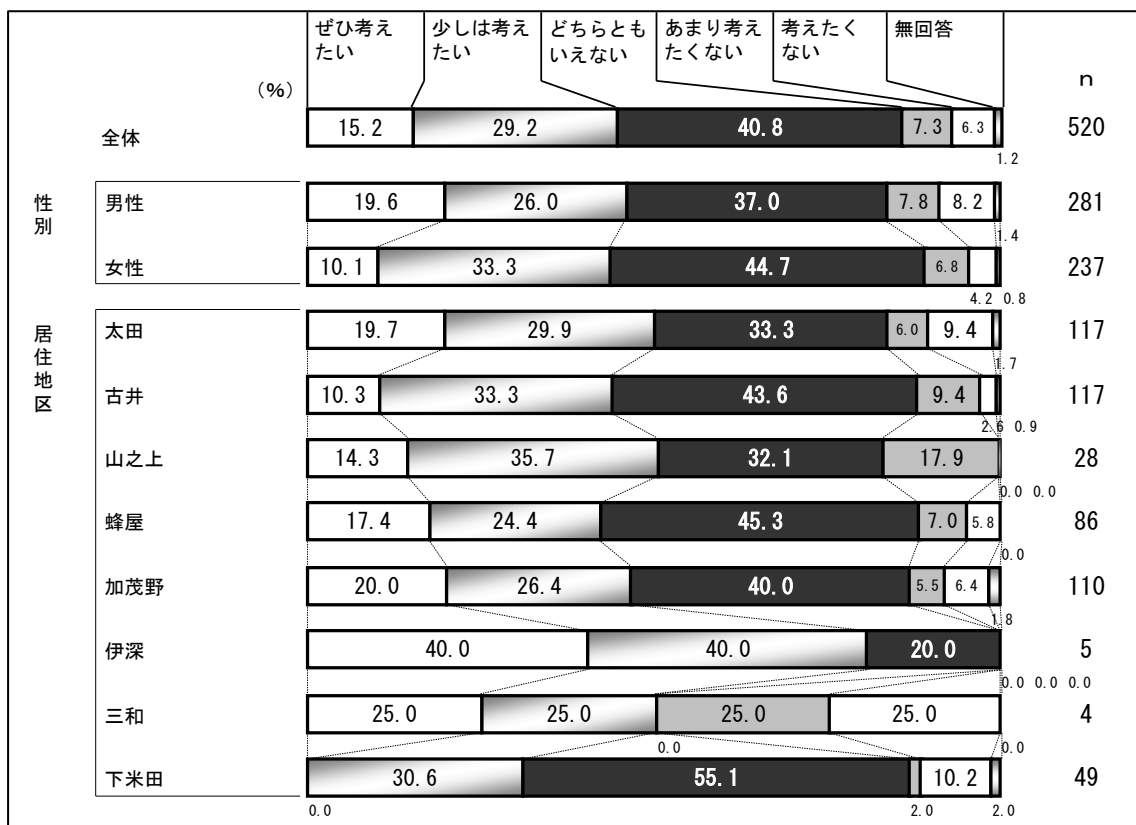
### (13) 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか

問5-13 市と一緒にまちづくりを考えてみたいですか。

- “考えたい”は44.4%、“考えたくない”は13.6%。

市と一緒にまちづくりを考えてみたいかどうかについては、「どちらともいえない」と答えた人が40.8%で最も多く、次いで「少しは考えたい」と答えた人が29.2%で続き、これと「ぜひ考えたい」(15.2%)をあわせた“考えたい”という人が44.4%となっています。これに対し、“考えたくない”という人(「あまり考えたくない」(7.3%)と「考えたくない」(6.3%)の合計)は13.6%となっています。[図表17参照]

図表17 市と一緒にまちづくりを考えてみたいか（全体・性別・居住地区）



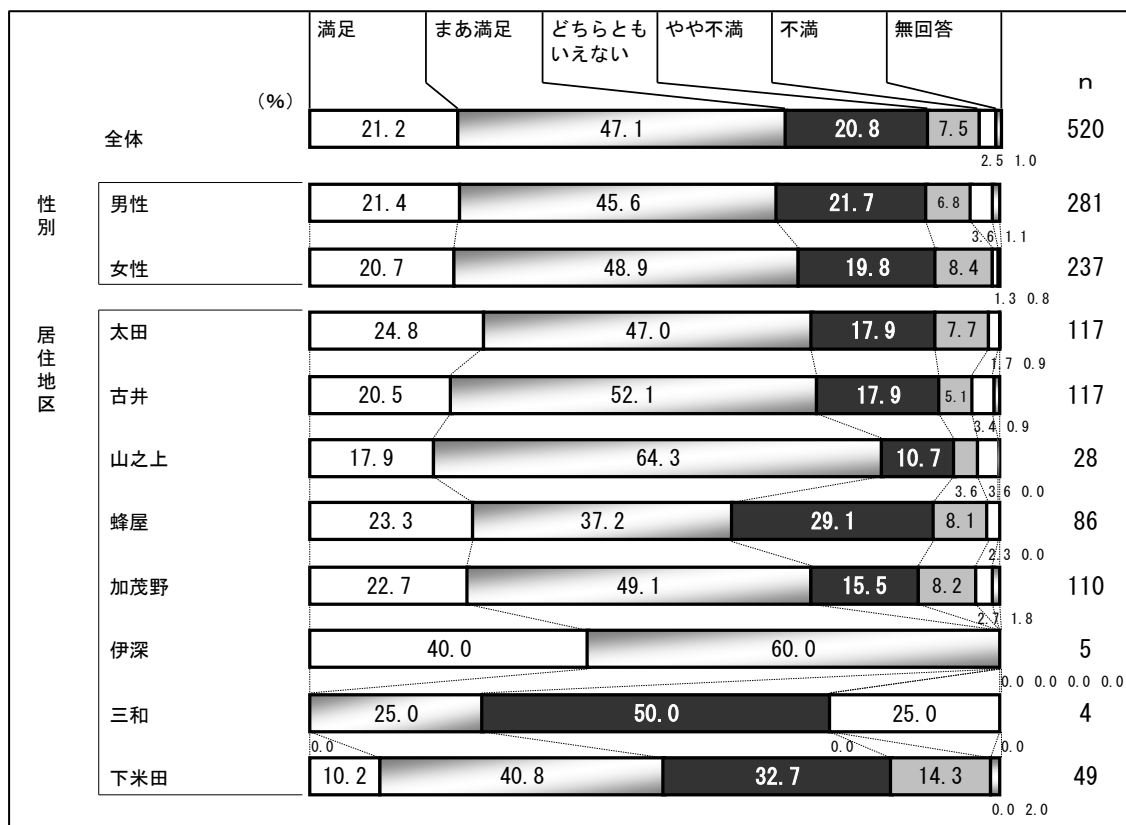
(14) 今の生活にどの程度満足しているか

問 5-14 あなたは、今の生活にどの程度満足していますか。

● “満足” は 68.3%、“不満” は 10.0%。

今の生活にどの程度満足しているかについては、「まあ満足」と答えた人が 47.1%で最も多く、次いで「満足」と答えた人が 21.2%で続き、これらをあわせた“満足”という人が 68.3%と7割弱にのぼっています。これに対し、“不満”という人（「やや不満」(7.5%)と「不満」(2.5%)の合計）は 10.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は 20.8%となっています。[図表 18 参照]

図表 18 今の生活にどの程度満足しているか（全体・性別・居住地区）





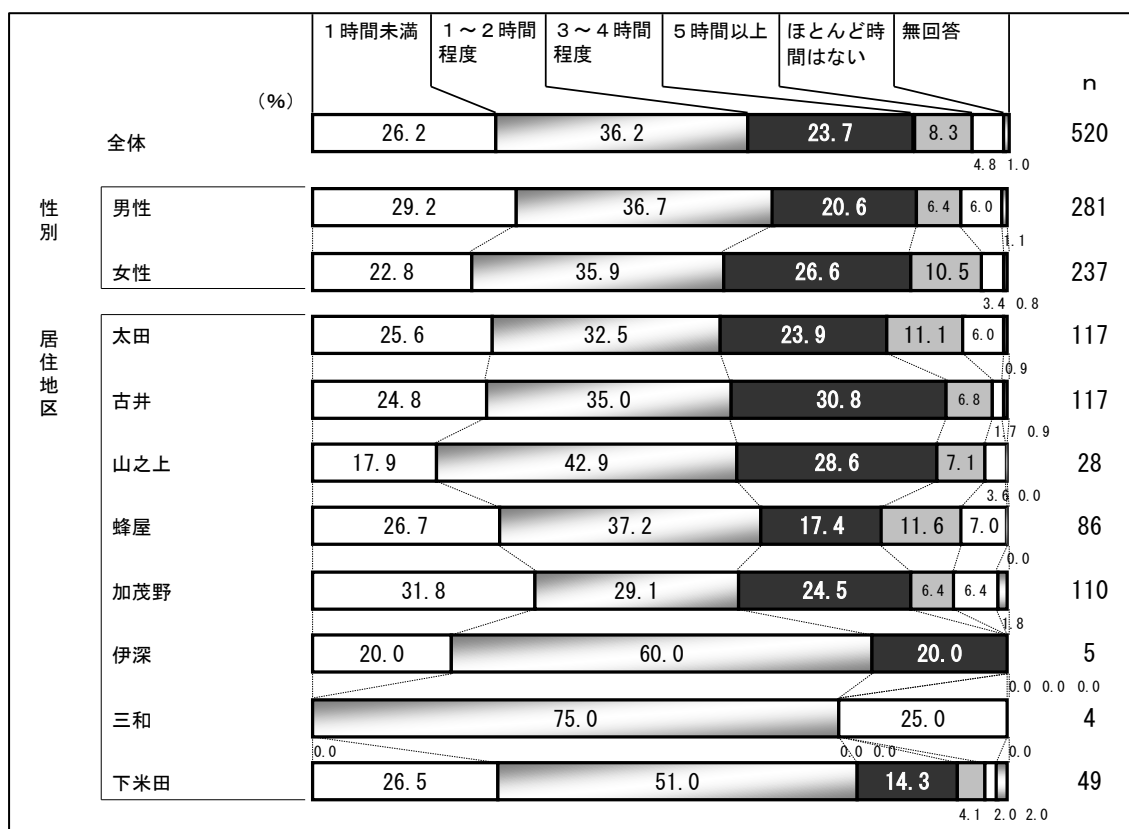
### (15) 平日に家族で話をする時間

問 5-15 平日に家族で話をする時間はどのくらいですか。

- 「1～2時間程度」が第1位。次いで「1時間未満」、「3～4時間程度」の順。

平日に家族で話をする時間については、「1～2時間程度」(36.2%)が最も多く、次いで、「1時間未満」(26.2%)、「3～4時間程度」(23.7%)、「5時間以上」(8.3%)、「ほとんど時間はない」(4.8%)となっています。[図表 19 参照]

図表 19 平日に家族で話をする時間（全体・性別・居住地区）



### 3 今後のまちづくりについて

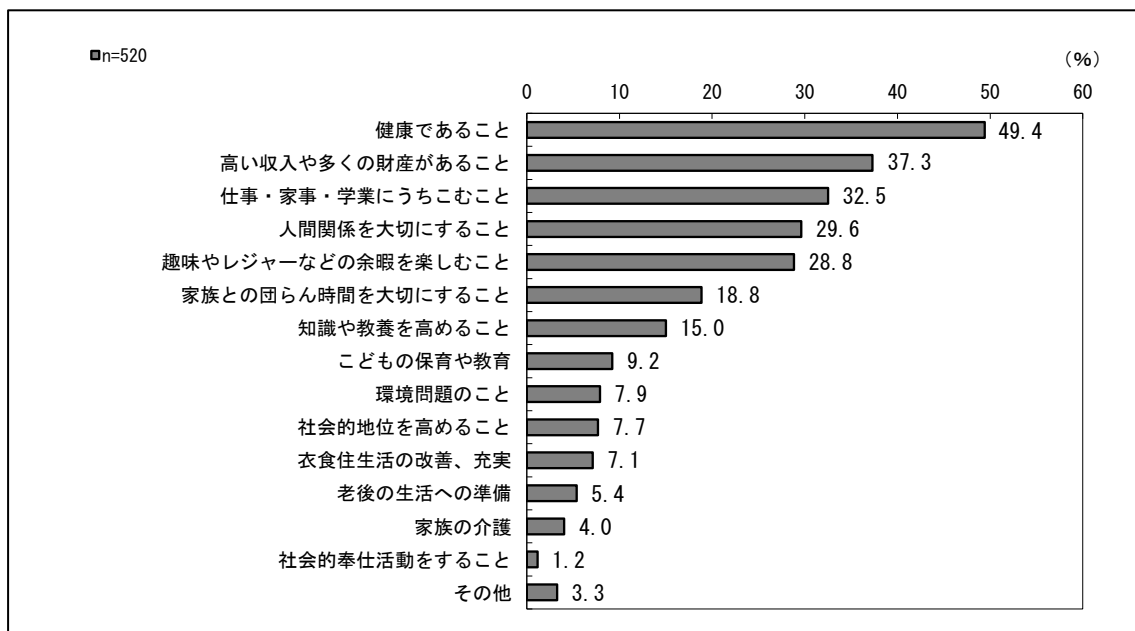
#### (1) 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと

問6 あなたが、今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うことはなんですか。【複数回答】

- 「健康であること」が第1位。次いで「高い収入や多くの財産があること」、「仕事・家事・学業にうちこむこと」の順。

今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うことについては、「健康であること」(49.4%)が第1位にあげられ、次いで「高い収入や多くの財産があること」(37.3%)が第2位、「仕事・家事・学業にうちこむこと」(32.5%)が第3位、以下、「人間関係を大切にすること」(29.6%)、「趣味やレジャーなどの余暇を楽しむこと」(28.8%)、「家族との団らん時間を大切にすること」(18.8%)、「知識や教養を高めること」(15.0%)、「こどもの保育や教育」(9.2%)、「環境問題のこと」(7.9%)、「社会的地位を高めること」(7.7%)、「衣食住生活の改善、充実」(7.1%)、「老後の生活への準備」(5.4%)、「家族の介護」(4.0%)、「社会的奉仕活動をする事」(1.2%)などの順となっています。[図表20・21参照]

図表20 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと（全体／複数回答）



図表 21 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと  
 (全体・性別・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		健康であること 49.4	高い収入や多くの財産があること 37.3	仕事・家事・学業にうちこむこと 32.5
性別	男性	健康であること 50.2	高い収入や多くの財産があること 44.1	人間関係を大切にすること 29.9
	女性	健康であること 48.9	仕事・家事・学業にうちこむこと 35.9	趣味やレジャーなどの余暇を楽しむこと 30.4
居住地区	太田	健康であること 48.7	高い収入や多くの財産があること 40.2	仕事・家事・学業にうちこむこと 34.2
	古井	健康であること 48.7	高い収入や多くの財産があること／趣味やレジャーなどの余暇を楽しむこと 33.3	
	山之上	健康であること 71.4	人間関係を大切にすること 42.9	仕事・家事・学業にうちこむこと 32.1
	蜂屋	健康であること 43.0	高い収入や多くの財産があること 40.7	仕事・家事・学業にうちこむこと 30.2
	加茂野	健康であること 43.6	高い収入や多くの財産があること 38.2	仕事・家事・学業にうちこむこと 33.6
	伊深	健康であること 60.0	高い収入や多くの財産があること／仕事・家事・学業にうちこむこと 40.0	
	三和	健康であること 75.0	知識や教養を高めること／趣味やレジャーなどの余暇を楽しむこと 50.0	
	下米田	健康であること 61.2	高い収入や多くの財産があること 38.8	趣味やレジャーなどの余暇を楽しむこと 36.7

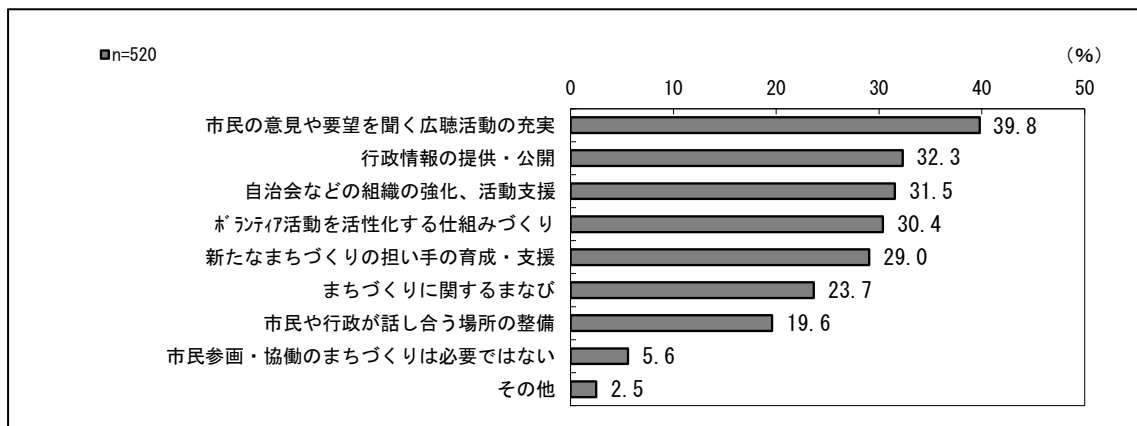
## (2) 市民と行政の協働の地域づくりのために必要な取り組み

問7 市民と行政が協力して課題解決や地域づくりを行うため、どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

- 「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」が第1位。次いで「行政情報の提供・公開」、「自治会などの組織の強化、活動支援」の順。

市民と行政の協働の地域づくりのために必要な取り組みについては、「市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実」(39.8%)が第1位にあげられ、次いで「行政情報の提供・公開」(32.3%)が第2位、「自治会などの組織の強化、活動支援」(31.5%)が第3位、以下、「ボランティア活動を活性化する仕組みづくり」(30.4%)、「新たなまちづくりの担い手の育成・支援」(29.0%)、「まちづくりに関するまなび」(23.7%)、「市民や行政が話し合う場所の整備」(19.6%)などの順となっています。なお、「市民参画・協働のまちづくりは必要ではない」は5.6%となっています。[図表 22・23 参照]

図表 22 市民と行政の協働の地域づくりのために必要な取り組み (全体/複数回答)



図表 23 市民と行政の協働の地域づくりのために必要な取り組み  
(全体・性別・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 39.8	行政情報の提供・公開 32.3	自治会などの組織の強化、 活動支援 31.5
性別	男性	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 39.1	行政情報の提供・公開 38.1	自治会などの組織の強化、 活動支援 35.6
	女性	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 40.5	ボランティア活動を活性 化する仕組みづくり 33.8	新たなまちづくりの担い 手の育成・支援 27.4
居住地区	太田	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 43.6	行政情報の提供・公開 35.0	新たなまちづくりの担い 手の育成・支援 31.6
	古井	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 40.2	行政情報の提供・公開 31.6	新たなまちづくりの担い 手の育成・支援 29.1
	山之上	行政情報の提供・公開／自治会などの組織の強化、活動支援／市民の意見や要望を 聞く広聴活動の充実 39.3		
	蜂屋	自治会などの組織の強化、 活動支援 34.9	ボランティア活動を活性 化する仕組みづくり 33.7	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 31.4
	加茂野	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 40.0	ボランティア活動を活性 化する仕組みづくり 35.5	自治会などの組織の強化、 活動支援 33.6
	伊深	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 40.0	行政情報の提供・公開／自治会などの組織の強化、活動 支援／市民や行政が話し合う場所の整備 20.0	
	三和	まちづくりに関するまな び 75.0	行政情報の提供・公開／自治会などの組織の強化、活動 支援／市民の意見や要望を聞く広聴活動の充実／市民 や行政が話し合う場所の整備 25.0	
	下米田	行政情報の提供・公開 46.9	市民の意見や要望を聞く 広聴活動の充実 44.9	自治会などの組織の強化、 活動支援／新たなまちづ くりの担い手の育成・支援 32.7